

コーチング学と体育科教育学の接点を探る －運動技能、競技力、身体性－

【テーマ】

教科体育では、競技力を競い合うということは関心の対象とならないのが一般的である。しかし、自分に合った目標を設定して自らの「動きかた」をよりよいものに向かって改善しようとする努力志向性の存在を疑うことはできない（朝岡、2017）。このような「動きかた」の優劣の価値判断に導かれて行われる身体活動には、教科体育、競技スポーツいずれにおいても重要な教育的契機が含まれている（金子、2002）ことには異論はないだろう。

そこで本研究フォーラムでは、学習指導要領でいう「運動技能」とコーチング学における「競技力」を「身体性」をキーワードとして検討し、コーチング学と体育科教育学が「運動学習/技術トレーニング」について共通の土俵で議論できる一助にしたい。

【シンポジスト】

鈴木秀人（東京学芸大学）

教科体育において運動技能はどのように理解されているのか？（仮）

青山清英（日本大学、日本コーチング学会会長）

コーチング学において競技力はどのように理解されているのか？（仮）

司 会：伊佐野龍司（日本大学）

【日時・場所】

日 時：2025年12月6日（土） 14：00～15：30

場 所：日本大学文理学部 サクラ・スポーツジムナスティクスセンター演習室

【参加費】

会員及び非会員共に無料

【申込み】

以下のURLから申込みしてください。

<https://forms.gle/qx26C6FG5Nhn3r997>



なお、この研究フォーラムは、日本スポーツ体育健康科学学術連合の助成により開催します。

以 上

本件に関する連絡先
日本大学文理学部 伊佐野龍司（isano.ryouji * nihon-u.ac.jp）
*を@に変更してください。